

～「with コロナ」時代への提言～ 世界初、非対面・非接触での新デジタル接客システム



三次元足型自動計測機などの開発メーカーである株式会社ドリーム・ジーピーは「My Foot Station 泉大津店」を2020/7/3（金）11：00にMONTOPARK（大阪府泉大津市東雲町252-1）にてグランドオープンさせる。ドリーム・ジーピーでは、導入企業の要望により人手不足対策のため、スタッフの手がかからない非対面・非接触対応が可能な三次元足形計測機の開発を進めてきたこともあり、同ショップへ新型計測機を導入する。足型計測データはクラウドのFoot Bank（フットバンク）にアップされ、APIを使用して呼び出すことが可能となっており、計測データを自社で加工したかった企業の要望にも対応している。自社のDWH（データウェアハウス）やMA（マーケティングオートメーション）ツールに取り込む企業もすでに出てきている。

同ショップでは、計測結果シートに印字されたQRコードを読み込むことで、スマホでも計測結果が確認できるマイページを準備しており、そのシステムもAPIを活用している。ドリーム・ジーピーではマイページにその人への最適商品の紹介やそのEC決済、また足の悩みに関するアドバイスを表示できるようなシステムに継続開発を行い、発達学的な見地による足の分析や店舗でのソリューションの品質向上などに寄与させたいと考えている。

足に特化したソリューションを提供し続けてきた株式会社ドリーム・ジーピー。靴のフィッティングまでを行うマイスターを店舗に在籍させ、きめ細やかなアドバイスやサービスを提供する「My Foot Station 銀座店」を運営しているが新型コロナウイルス感染症（COVID-19）で来客数が減少することとなり、接客のあり方も大きな課題となった。しかし、開発を進めてきた非対面・非接触の新型三次元足型自動計測機が功を奏し「My Foot Station 泉大津店」で本格的な運用をスタートする。With コロナの新しい時代において、小売業もDX（デジタルトランスフォーメーション）による構造改革が求められていることもあり、「My Foot Station 泉大津店」が小売業の新たなビジネスモデルとして確立させたいとしている。

また泉大津市は「健康寿命日本一の町」を目指す中で南出賢一市長が「あしゆびプロジェクト」が推進し、様々なイベントを通じて、あしゆびの正しい使い方を学ぶことで「体幹」を鍛え、高齢者の転倒事故予防にもつなげたいとしている。「My Foot Station 泉大津店」では市民の足を計測し、発達学的な見地で分析を行うことも期待されている。

健康は足元からと言われるように、肩こりや頭痛、腰痛等が、足を自分の最適な状態へと導くことで改善できることも多くある。計測した足データのビックデータをAIで分析することでC2M（Customer to Manufacturer）の商品開発や、地元企業に対する健康経営のソリューション提案に活用し「100歳までびんびん歩ける社会作り」の実現を目指す。

このリリースに関する問い合わせ

株式会社ドリーム・ジーピー

〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西1丁目3-19

TEL：06-4708-4877

担当：川合 俊哉 Mail：kawai@dreamgp.jp



WEB：https://www.dreamgp.jp/